

議会だより おかがき

No.114 9月定例会 平成29年10月25日発行

2～3 ● 慎重審議を経て認定！

平成28年度一般会計・特別会計・公営企業会計決算

8～10 ● 町政を問う



平成28年度 一般会計・特別会計・公営企業会計決算



第3回定例会は9月6日から9月20日までの15日間の日程で開催され、平成28年度一般会計決算認定を含む議案14件、発議2件などについて慎重審議しました。

平成28年度岡垣町各会計別決算概要

(単位：円)

区 分		収 入 額	支 出 額	差 引 額	
一 般 会 計		10,607,406,991	10,275,793,141	331,613,850	
特別会計	国民健康保険事業	4,265,576,361	4,356,081,672	-90,505,311	
	後期高齢者医療	539,279,708	526,819,470	12,460,238	
	住宅新築資金等貸付事業	3,836,699	769,598	3,067,101	
企業会計	水道事業	収益的収支	483,599,873	478,334,752	5,265,121
		資本的収支	153,814,720	341,362,436	—
	下水道事業	収益的収支	983,465,099	884,238,912	99,226,187
		資本的収支	552,143,100	898,867,685	—

※企業会計は、税抜き金額です。資本的収支の不足額は、公営企業に留保している資金で補っています。



大地の水



でんたつくんの戸別受信機



波津漁港



松葉かき



■決算議会審議状況（連合審査会：主な質疑）

○総括

- ・行政改革推進計画
- ・財政状況
- ・地域総合整備資金貸付金

○歳入

- ・町税
- ・住民税
- ・軽自動車税

○総務費

- ・地域情報伝達無線システム
- ・でんたつくんの戸別受信機貸し出し
- ・定住促進
- ・職員採用試験
- ・まち・ひと・しごと創生総合戦略
- ・情報プラザ人の駅

○民生費

- ・配食サービス
- ・ボランティア団体
- ・福祉ボランティアポイント

○農林水産業費

- ・有害鳥獣駆除
- ・町有林の整備状況
- ・就農支援
- ・林業一般経費
- ・森林保全対策
- ・漁業の振興
- ・漁港の適正管理

○商工費

- ・企業誘致

○教育費

- ・文化財保存展示施設の管理運営

○その他

- ・水ブランド化
- ・下水道の老朽化
- ・農業集落排水事業
- ・特定検診
- ・介護保険制度
- ・後期高齢者医療費

■監査審査意見書より（抜粋）

岡垣町は過去から他の地方自治体と比較すると良好な財政状況を保ってきている。しかし、財政構造として自主財源の比率は高いとは言えず、地方交付税や臨時財政対策債、地方消費税交付金、国庫支出金などの依存財源に影響を受けやすい。また、今後の歳出面では、少子高齢化による社会保障費の増加や、公共施設の老朽化に伴う維持管理、更新経費の増加などが見込まれている。このため、町税収入をはじめとする一般財源の確保と経常経費の削減が課題となっている。

「第5次総合計画後期基本計画」や「まち・ひと・しごと・創生総合戦略」に掲げる施策を着実に実行し、定住・交流人口の増加を図り、将来における自主財源の確保に向けた取り組みを進められたい。また、更なる経費の削減を図るため、PDCAサイクルによる事務事業の改善等を推進することで、効率的な行政サービスを展開されたい。

今後の財政運営においても、常に短期的及び中長期的な視点に立ち、引き続き効率的・効果的な事業遂行に徹しつつ、将来の地域活性化に向けた事業展開を図り、良好な財政状況が保たれるように努力されたい。

道路整備事業の補助率等のかさ上げ措置の継続に関する意見書 全会一致可決

要望内容

道路整備事業に係る国の財政上の特別措置に関する法律の規定による補助率等のかさ上げ措置が、平成29年度末で期限を迎えるため、今後も地域における道路整備を着実に推進できるように平成30年度以降も継続することを求める内容です。広渡輝男議員他5名から提出され、全会一致で可決しました。

提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、国土交通大臣

平成29年度 岡垣町一般会計補正予算（第2号）可決 いこいの里施設環境整備 1億5370万円の追加予算

主な使いみち



いこいの里空調設備改修工事費 7040万円

老朽化に伴い、空調施設（エアコン）の改修工事を行います。全館工事します。

災害復旧費 783万円

7月7日の大雨で、町道や護岸、農業用水路、ため池、法面など町内数ヶ所で災害が発生しました。早期復旧を目指します。

三里松原林内整備等基本図作成委託料 200万円

観光ステーション北斗七星前の町道を整備します。雑木の伐採、道路拡張、林内整備等の設計費用です。



議決の状況について

議員の賛成○・反対●・除斥 除・退席 退・欠席 欠

内 容	採決日	議席番号	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
		結果	神崎 宣昭	下川路 勲	横山 貴子	平山 正法	小野 元次	曾宮 良壽	市津 広海	森山 浩二	木原 大輔	広渡 輝男	三浦 進	西 美千代
岡垣町固定資産評価審査委員会委員の選任について	9/6	同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町政治倫理条例の一部を改正する条例	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町定住促進に係る固定資産税の減免に関する条例の制定について	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
住居表示に伴う字の区域及び名称の変更について	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度 岡垣町一般会計補正予算(第2号)	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計補正予算(第2号)	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成29年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度 岡垣町一般会計歳入歳出決算認定について	9/20	賛成多数認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度 岡垣町国民健康保険事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/20	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度 岡垣町後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	9/20	賛成多数認定	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度 岡垣町住宅新築資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	9/20	認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度 岡垣町水道事業会計利益の処分及び決算認定について	9/20	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
平成28年度 岡垣町下水道事業会計利益の処分及び決算認定について	9/20	可決及び認定	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
岡垣町地域情報伝達無線システム整備工事(第2期工事)請負契約について	9/6	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
中西部地域活性化調査特別委員会の設置に関する決議	9/20	可否同数議長裁決可決	○	○	●	●	●	●	○	●	○	○	●	○
中西部地域活性化調査特別委員会の設置に関する決議に対する修正動議	9/20	可否同数議長裁決否決	●	●	○	○	○	○	●	○	●	●	○	●
道路整備事業の補助率がさ上げ措置の継続に関する意見書	9/20	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

■ 全員協議会の議題

- ① 国民健康保険の広域化(その3)
- ② デマンドタクシー実証運行の実施
- ③ 岡垣コミュニティバスふれあいのダイヤ改正
- ④ 生活環境保全の取り組み
- ⑤ えびつ幼稚園の認定こども園への移行予定
- ⑥ 内浦小学校の特別転入学制度の導入
- ⑦ 航空自衛隊芦屋基地滑走路延長整備計画の一部変更
- ⑧ 本格焼酎「岡垣 原酒」



平成28年度岡垣町一般会計 歳入歳出決算認定

反対

平山 正法 議員

山田第3学童保育所の建設、松枯れ対策としての三里松原の樹幹注入や農業・漁業の振興は評価できる。

ボランティア活動されている方々の高齢化も進んでいる。また、農漁業の後継者問題など課題があるため解決できるよう努力して頂きたい。

マイナンバー制度や新総合事業が開始された。新総合事業は、医療・介護総合法に基づき、要支援1・2の訪問介護と通所介護を保険給付から外すものである。

また、海老津駅南側道路等整備事業が完成したが、これらの制度や事業には反対する。

賛成

広渡 輝男 議員

平成28年度は、「まち・ひと・しごと創生総合戦略」の実行へ向けた年度である。まちづくりを推進する自主財

源の町税は、微増はしているが、依存財源の地方交付税と臨時財政対策債は減少している。財源不足を補うため地方債の発行や、基金を取り崩した厳しい歳入決算である。

歳出決算額は、少子高齢化対策や教育、産業、住民の生活基盤の充実に進められ評価する。さらに、自主財源の確保へ向けて、昨年竣工したJR海老津駅南側道路等を活用した駅南側開発促進や、地域の特性を活用したまちづくりに積極的に取り組まれることを求めて賛成討論とする。

横山 貴子 議員

財政状況の厳しい中、実質収支は、2億7736万円の黒字決算となっている。このような結果となったのは、第5次総合計画後期基本計画に基づき、まち・ひと・しごと創生総合戦略に掲げる政策に沿いつつ編成、当初予算の目的をおおむね達成され、かつ健全な財政運営に努力されたものと評価する。

景気の動向を注視し、経費の削減と更なる行財政改革に取り組んでいただくと共に、今後とも財政運営の健全化と住民福祉の増進のため、将来に渡って発展性を期待できるまちづくりに、全力で取り組んでいただくことを要望し賛成討論とする。

小野 元次 議員

平成28年度は、住民が豊かで安心して暮らせる魅力あるまちづくりを目指した「第5次総合計画・後期計画」を策定した年である。

主要な施策成果は、道路環境の整備、地域福祉政策の推進と空き家対策事業、子育て支援と高齢者の支援事業、地域情報伝達システム工事の着手、自然環境の保全と農水産業の振興である。

特に、6年の歳月をかけて完工したJR海老津駅南側道路等整備事業は、将来へ向けてJR海老津駅周辺整備、定住促進を図る団地開発、文教福祉施設などの誘致へと大いに期待が出来る」と評価をして賛成とする。



中西部地域活性化調査特別委員会 設置に関する決議

1. 名称 中西部地域活性化調査特別委員会
2. 設置根拠 地方自治法第109条及び岡垣町議会委員会条例第4条
3. 目的 (1) 岡垣町の中西部地域の活性化の促進に関する調査研究
(2) 地方再生へ向けた事項の調査研究

提案理由

岡垣町の特性は、福岡市、北九州市の両政令都市のほぼ中間に位置するという地理的好条件と、一方では玄海国定公園の三里松原や孔大寺山・湯川山の自然に恵まれ、農業、漁業と相まった四季折々のフルーツ等に恵まれた特徴ある自然豊かな町です。

その中核をなす中西部地域の活性化の促進が、地方創生へ向けた一つの大きなキーワードになることは明白です。そこで、岡垣町の活力あるまちづくりを積極的に推進するための議会の役割として、岡垣町の地域再生並びに中西部地域の活性化の促進へ向けた調査研究を行うことが喫緊の課題であると考えます。

加えて、ユネスコの世界遺産委員会は「2017年7月9日『神宿る島』宗像・沖ノ島と関連遺産群の世界文化遺産が登録され、その波及する効果は予測しがたいが、周辺地域の観光人口の増加は言うまでもありません。

提出者 市津広海

賛成者 広渡輝男 神崎宣昭 下川路勲 木原大輔 西美千代

発議第2号として提案されたが、以下の内容で修正動議が提出された。

中西部地域活性化調査特別委員会 設置に関する決議に対する修正動議

『1. 名称 本文及び名称』中「中西部地域活性化調査特別委員会」を「西部地区を主体とした農福連携のまちづくりに向けた調査特別委員会」に改める。

『3. 目的』中(1)及び(2)を次のように改める

- (1) 岡垣町の西部地域の活性化の促進に関する調査研究
- (2) 農福連携のまちづくりに関する調査研究

提案理由

岡垣町の第5次総合計画の農林水産分野では、基本方針に「農林水産業の経営や担い手の育成を推進」とあります。また、福祉の分野では「障害者の暮らしと社会での自立を支援」「地域社会における障害者への理解を深める」「生活困窮者の自立支援」とあります。さらに今年度末までの第4期岡垣町障害者福祉計画には、就労支援、障害のある人に対する理解が課題の一つとして上げられています。

農業を基幹産業とする我が町にあって、中西部の果たす役割は今後とも大きいと考えますが、高齢化及び後継者不足で全国の自治体と課題を共有するところであるし、また同時に先に述べた障害者の就労支援の場をいかに生み出していくかという取り組みも急がれるところです。

その中で、西部地区に民間業者が既にその取り組みをしているところで、それを含め「農福連携」について議会内で調査・研究を進め、その成果を政策提言することをめざし、特別委員会を設置するものです。

発議者 曾宮良壽 森山浩二

中西部地域活性化調査特別委員会設置に関する決議、中西部地域活性化調査特別委員会設置に関する決議に対する修正動議に対し、それぞれ賛成討論を行い、中西部地域活性化調査特別委員会設置に関する決議が採択されました。(各議員の賛成・反対については5ページの一覧表をご覧ください)

小野

返還40周年事業の実施は

町長

歴史の周知を図る



小野 元次 議員

林されました。戦後の占領下、岡垣対地射爆撃場開設により一時失われていた緑豊かな自然は、返還後に取り戻すことができました。

小野 平成30年6月7日は、三里松原の岡垣対地射爆撃場が返還をされて40年を迎えます。全町民が一体となって撤去運動を展開して返還されましたが、記念事業などを開催する予定はありませんか。

町長 岡垣対地射爆撃場の返還には、安全で平穏な生活や、町の貴重な財産を取り戻すため、町民と行政や議会が一体となって取り組んだ運動の歴史があります。返還40周年記念事業は実施しませんが、広報やホームページでその歴史について周知していきます。

小野 三里松原は江戸時代に福岡藩の命で、村人の松の植え立てという労役によって植



岡垣対地射爆撃場の標的 (昭和48年6月)

しかし、現在の松枯れ被害は深刻な状況で、松原の荒廃が進んでいます。そのため「フォーラム三里松原」を開催して、自然豊かな三里松原に戻すため、町民と協働で再生活動を行う考えはありませんか。

町長 形式に捉われるのではなく、様々な機会を通して、

松原保全の必要性を多くの住民に周知することが、松原再生に向けた有効な手段であると考えます。また、ボランティアの数を増やすことや活動の充実を図ることが重要で、そのためにも三里松原保全対策

曾宮

農林水産業の振興について

町長

適切な支援を行う



曾宮 良寿 議員

協議会と十分協議しながら取り組みを進めていきたいと考えます。
(その他の質問)
校訓を生かした学校づくりについて

れています。農業・農村の振興、発展には、生産条件の整備や基盤の強化とあわせて、所得の安定を図るため、消費の拡大を推進することも重要で、このため様々な支援を行っています。

また、消費する仕組みづくりでは業種間の連携を図るなど、地元農産物の消費拡大に向けた取り組みも必要と考えます。

林業では、岡垣町において、それを生業として成立させることは非常に難しいため、自然環境の保全という視点から、森林のもつ多面的機能の



高倉びわ

維持・保全を目的とした事業展開を進めることが適切と判断しています。

漁業では、現状厳しい局面にあると認識していますが、漁業関係者と協議を進めながら、波津地区の特性にあった水産振興に努めます。



木原

教室にエアコン設置を

町長

検討を進めている



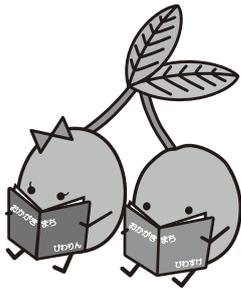
木原 大輔 議員

木原 昔と違い毎年のように夏場は異常気象による高温の日が続いています。そのような中、児童・生徒は授業を受けていますが、決して集中して勉強に励める環境ではありません。教える側の教師も一緒ではないでしょうか。熱中症は決して屋外の日差しのもとだけでなるとは限りません。室内でも熱中症にはなりません。

児童の熱中症対策や学力向上のため教室にエアコンを設置するお考えはありませんか。

町長 近年では猛暑日も増え、夏の気温が上昇しています。扇風機だけでは、教室内の室温が下がらず、一定の効果はあるが十分であるとは言

えない状況と認識しています。エアコンの設置は、県内でも多くの学校で進んでいます。学習指導要領の改訂による授業時間の増加や教職員の長時間労働の問題などから、設置にあわせ夏休みを数日短縮するなどの動きも出ています。本町でも教室へのエアコン設置のみではなく、夏休みに対する考え方も含めて、教育委員会と十分に協議しながら、現在検討を進めているところです。



木原 英語教育の町おかがきが根付いてきた今、A L Tの活用についてお尋ねします。

教育長 平成28年4月から、それまで1名であったA L Tを2名体制に増員しました。また英語教室を設置し、昼休みにA L Tと会話する機会を

木原 設けるなど、ネイティブな英語に触れる機会は増加しています。

今後とも英語教育アドバイザーからの助言や英語教員との協議を重ねながら、適正にA L Tを配置していく考えです。

平山

教室にエアコン設置を

町長

検討を進めている



平山 正法 議員

平山 小中学校の教室に扇風機を設置して2年が経過しました。しかし、猛暑により室温は35度を超えることがあり、授業に集中できていないなどという声を耳にします。暑さ、

寒さ対策だけでなく、熱中症の対策としてもエアコンの設置は重要です。子どもの命と健康、学習環境の改善に取り

組むべきではないでしょうか。

町長 全国的にも学習指導要領の改訂による授業時数の増加や教職員の長時間労働の問題などから、その対策として夏休みを数日短縮するなどの動きも出ています。そのような状況を踏まえて、本町でも教室へのエアコン設置のみでなく、夏休みに対する考え方も含めて教育委員会と十分に協議しながら検討を進めています。

平山 入学準備金は、低所得世帯の子ども向けの就学援助の一環です。文部科学省は、ランドセルや制服などを購入



岡垣中学校

する費用は、入学前から支給できるように運用を改めるとしました。県内でも入学前の支給が広がっています。来年度以降の入学準備金支給については、どうお考えでしょうか。

教育長 本町では現在、児童が小中学校に入学した後、対象者を把握し、7月に入学準備金を支給しています。来年度以降については、先行実施している自治体の制度や事務の調査結果を踏まえて、まずは教育委員会で事前に対象者を把握できる中学校への入学準備金について、小学校在時に支給できるよう、平成30年度から制度を見直す方向で検討を進めています。

議会の動き

6月定例議会終了後の本会議・委員会・協議会等についてお知らせします。

日時	委員会等	議 題
7月25日	文教厚生(協)	行政視察研修 閉会中の継続調査の今後の活動内容について
7月31日	総務産業	行政視察研修 (岡山県津山市)
8月 1日	総務産業	行政視察研修 (京都府宮津市)
8月 2日	総務産業	行政視察研修 (京都府宮津市)
8月 7日	文教厚生	行政視察研修 (鹿児島県日置市)
8月 8日	文教厚生	行政視察研修 (鹿児島県鹿屋市)
8月 9日	文教厚生	行政視察研修 (鹿児島県いちき串木野市)
8月 9日	総務産業	国道3号岡垣バイパス4車線化陳情
8月 9日	総務産業(協)	地方創生について、視察研修の報告
8月25日	議会運営	第3回定例会
9月 6日	本 会 議	平成29年第3回定例会(初日)上程、委員会付託
9月 6日	議会広報	議会だよりの編集
9月 7日	本 会 議	一般質問(3名)
9月 8日	本 会 議	一般質問(2名)
9月11日	総務産業	付託案件審査
9月12日	文教厚生	付託案件審査
9月13日	全員協議会	国民健康保険の広域化(その3) 他
9月14日	連合審査会	付託案件審査
9月15日	連合審査会	付託案件審査
9月20日	本 会 議	最終日
9月20日	議会広報	議会だよりの編集

西

男女がともに参画する地域づくりを

町長

啓発活動を実施し推進していく



西 美千代 議員

西 全国的に人口が減少する中、住みよい地域づくりを進めるためには、女性がその

町長

岡垣町では「岡垣町第1次男女共同参画基本計画」に基づき、毎年度進捗状況を確認しながら、各施策の推進に取り組んでいます。女性リーダーの育成については、男女共同参画推進リーダー養成講座を開催しており、受講終了後も男女共同参画推進団体への参加など、活動を継続してもらおうよう働きかけをしています。

西

今年7月に「九州北部豪雨」が発生しました。今回の土砂災害や昨年の熊本地震からの教訓として、普段から女

町長

性が自治会やコミュニティなどの意思決定機関に参加していることの重要性を学びました。多様な人材が地域に関わることで、緊急時に配慮が必要な住民の方々の要望が伝わりやすくなると思いますか。

災害対応においては女性等への配慮が求められます。町としても、このことを強く認識し、すでに地域防災計画に位置付け、毎年計画的にパターションや簡易トイレ等を購入するなど、女性等の専用スペースが確保しやすい

町長

い取り組みを進めています。今後も、災害時に配慮が必要な人への支援について取り組みを進めていきます。



朝倉市豪雨被害の状況



委員会視察研修・活動レポート

総務産業常任委員会

日時 平成29年7月31日～8月2日
視察先及び目的

岡山県津山市
あば村運営協議会の取り組み
京都府宮津市
海・山・里の地域資源を生かした
里山経済圏の形成

本委員会は、地域創生を視点に置き内閣府・総務省などが提唱している地域再生計画を策定し、認定を受けながら「まちづくり」に積極的に取り組まれている岡山県津山市（あば村運営協議会）と京都府宮津市の2市を訪問しました。

津山市は合併した阿波村の【あば村宣言】「合併から10年、今再び村から始まる」を掲げ新しい「小さな拠点」づくりに取り組まれています。

宮津市は、自立の町づくりへ向けて「海・山・里の地域資源」を活用した里山経済圏などの形成と定住促進への取り組みが行われています。

今回の視察研修を本委員会の活動に活かしていきます。



宮津市



津山市

文教厚生常任委員会

日時 平成29年8月7日～8月9日
視察先及び目的

鹿児島県日置市
ひおきふるさと教育（ひおき学）
小中一貫教育について
鹿児島県鹿屋市
鹿屋市スポーツ推進計画について
鹿児島県いちき串木野市
食のまちづくりについて

本委員会は鹿児島県下3市で研修を行いました。日置市では今年度開始の2事業「小中一貫教育」の推進、ひおきふるさと教育「ひおき学」を取り組まれています。

鹿屋市ではスポーツ推進計画の策定、青少年のスポーツ取り組み、鹿屋体育大学とのスポーツ連携などを学習しました。

いちき串木野市では、農水産物・特産品を活用しての産業の振興、福祉及び健康の増進、教育及び伝承、観光交流、環境保全、安全で安心な食を基本にした食のまちづくり政策が行われています。



日置市



鹿屋市



いちき串木野市

中西部地域活性化調査特別委員会



中西部地域の活性化の促進及び地方再生へ向けた事項の調査研究を行います。

- （前列右から）
委員長 市津 広海
副委員長 西 美千代
委員（後列右から）
委員 木原 大輔
委員 下川路 勲
委員 広渡 輝男
委員 神崎 宣昭

岡垣町のここはどこ？

この施設は、交流スペース、ボランティアセンター、文化財展示室、会議室などを有しており、まちのにぎわいと地域交流を目指しています。

交流スペースでは各種イベントや作品展示をしており、休憩の場としても利用できます。また、フリーマーケットなど開催されています。

ボランティアセンターでは町内外のボランティア活動の情報を知ることができ、活動の相談やネットワークづくりができます。

文化財展示室では町内で発掘された土器などの文化財や民具などが展示されています。

びわりん・びわすけからの一言
「町民の皆さん、来てね、待ってるよ」



No.113の岡垣町の「ここはどこ」の答えは、岡垣町観光ステーション北斗七星でした。

会議録を閲覧してみませんか



- ◆会議録検索システムは、議会本会議記録を議会ホームページで検索閲覧できるシステムです。
- ◆会議録は議会事務局やサンリーアイで閲覧できます。(詳しくは議会事務局まで)

どうぞ傍聴席へ

次の定例会は

12月4日(月)
開会の予定

7・8・9月の主な出来事



海開き



納涼夏まつり



敬老会



東部保育所運動会

編集後記

森山 浩一

四季の中で一番好きな秋の到来だ。
日本人の繊細な技術力や品質力は、四季があるからだとの説がある。
また、外国から来日された方々の日本の印象は、ゴミが落ちていなくて本当に美しい国だと言っていたことを思い出す。
今年の猛暑や記録的短時間大雨等による自然災害に見舞われていることは、あまり知られていない。
南米に発生したレベル5のハリケーン(イルマ)の災害について私たちが詳しく知らないことと同じである。
日本のみならず、地球規模で異変が起きていると感じる。
自然災害の発生を止めることは物理的に不可能であるが、危機管理をもって対処すれば、最低限避けられるはずだ。

発行責任者

議長 太田 強

議会広報常任委員会

- | | | | | | |
|-----------|------------|----------|----------|---------|----------|
| 委員長 平山 正法 | 副委員長 森山 浩二 | 委員 神崎 宣昭 | 委員 木原 大輔 | 委員 三浦 進 | 委員 西美 千代 |
|-----------|------------|----------|----------|---------|----------|